

2019 ANNUAL REPORT

社会福祉法人 光仁会 富竹の里
KOUJINKAI TOMITAKENOSATO

KOUJINKAI **TOMITAKENOSATO** **ANNUAL REPORT** **2019**

会社沿革 Company History ... 3

会社概要 Company Profile ... 6

企業理念 Corporate Philosophy ... 7

倫理行動規範 Code of business conduct and ethics ... 7

TOPICS ... 8

- 1 サービスの質向上、法令遵守の取り組みを振り返る
- 2 地域貢献の取り組みを振り返る
- 3 人材育成の取り組みを振り返る
- 4 地域とのつながりを振り返る
- 5 危機管理体制の取り組みを振り返る
- 6 働きやすい職場環境整備の取り組みを振り返る
- 7 看取り介護の取り組みを振り返る

DATA ... 15

財務ハイライト Financial highlights ... 18

公正な事業慣行 ... 19

各事業所 TOPICS ... 20

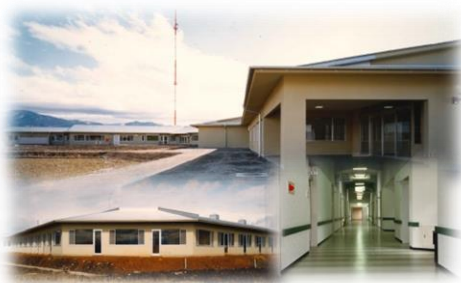
台風第 19号 大雨洪水災害 ... 24

会社沿革 Company History

起源 Origin

1986年（昭和61年）に「社会福祉法人光仁会富竹の里」は誕生しました。当時は、戦後の医療技術の進歩、食生活の向上、国民皆保険制度の確立などにより、人生80年時代を迎え、世の中は高齢化社会の時代。長野市においても高齢者数は約3万6千人と人口の約10%を超え、認知症や寝たきりの高齢者の介護を真剣に考えなければならぬときでした。このような状況に鑑み、特別養護老人ホーム富竹の里を建設、運営し、社会的要請にこたえ、老人福祉の向上に寄与することを目的として法人が設立されました。

CHAPTER 1 1986～



社会福祉法人光仁会富竹の里の設立

特別養護老人ホーム富竹の里、富の里
ショートステイホームの開設

CHAPTER 2 1990～



在宅福祉事業への飛躍

デイサービスセンター、ホームヘルプ
サービスの開始
(水戸黄門様出演者御一行様来訪 1993.3)

CHAPTER 3 2000～



介護保険制度施行

地域密着型施設、地域包括支援センターの
開設
富竹の里デイサービスセンターの新築移転

CHAPTER 4 2016～



地域包括ケアに向けて

地域福祉の発展に全力をささげていただ
いた方々への感謝の念を捧げつつ、新た
な時代に向かって歩み始めています。

軌跡を辿る Follow the trajectory

創設期

昭和58年	4月	老人ホーム建設構想検討開始
60年	4月	法人設立準備委員会発足
61年	7月	社会福祉法人光仁会富竹の里設立認可
	8月	特別養護老人ホーム富竹の里建設着工
62年	4月	特別養護老人ホーム富竹の里開所（定員50名）
	7月	短期保護事業開始（定員4名）
63年	2月	在宅寝たきり老人入浴サービス事業開始
	4月	社会福祉士及び介護福祉士方施行

推進期

平成	2年	4月	長野市古里デイサービスセンター開所
		6月	社会福祉関係8法の改正
	3年	4月	短期保護事業定員2名増（6名） 「家庭奉仕員」が「ホームヘルパー」に改称
	5年	5月	介護福祉機器貸付事業開始
	6年	8月	富竹クリニック開院
	7年	12月	短期保護事業定員2名増（8名）
	9年	10月	長野市在宅介護支援センター富竹の里開所
		11月	富竹の里家族会結成
	10年	6月	富竹の里ホームヘルプセンター開所

充実期

平成12年	2月	短期保護事業定員6名増（14名） 機能訓練室等を準個室へ改修 長野市から古里デイサービスセンター無償譲渡
	9月	特別養護老人ホーム富竹の里定員2名増（52名） 富竹の里ショートステイホーム定員2名減（12名） 富竹の里デイサービスセンター定員5名増（25名）
13年	4月	苦情解決相談委員設置
	6月	評議員会制度導入
14年	6月	富竹の里デイサービスセンター定員5名増（30名）
	11月	富竹の里デイサービスセンターホール増設
16年	4月	富竹の里和み開所（定員20名） 特別養護老人ホーム富竹の里定員4名減（48名） 富竹の里ショートステイホーム定員4名増（16名） 富竹の里デイサービスセンター定員3名増（33名）

変革期

平成18年	4月	高齢者虐待防止法制定 富竹の里介護予防（訪問、通所、短期）3事業所指定	
20年	4月	後期高齢者医療制度開始	
	10月	介護付有料老人ホーム上松ホーム開所（定員15名）	
23年	4月	富竹の里、富竹の里和み スプリングラー運用開始	
24年	6月	介護付有料老人ホーム上松ホーム定員9名増（24名）	
25年	10月	長野市地域包括支援センター富竹の里開所	
27年	3月	富竹の里デイサービスセンター移転新築	
	7月	介護予防事業（生活らくかる運動塾）開始	
28年	1月	旧デイサービスセンターを富竹の里いきいきセンターへ名称変更	
	4月	社会福祉法改正	
	10月	富竹の里デイサービスセンター定員2名増（35名）	
29年	1月	富竹の里デイサービスセンター 通所型基準緩和サービス指定（定員15名）	
30年	4月	富竹の里大規模改修工事・多床室プライバシー保護改修工事竣工 介護予防（通所、訪問）が長野市の実施する総合事業へ移行	
令和	1年	12月	富竹の里定員4名増（52名） 富竹の里ショートステイホーム定員4名減（12名）

2018年4月竣工



特別養護老人ホーム富竹の里は、4人部屋に間仕切りの建具を設置し、プライバシーに配慮された施設です。個室の特養より、低額な料金でご利用いただけます。より一層、皆様のお役に立てる施設を目指します。



地域を支える社会福祉事業を実践します
Social welfare service to support communities

会社概要 Company Profile

法人名	社会福祉法人光仁会富竹の里（こうじんかいとみたけのさと）
代表者	理事長 中野 清史（なかの きよし）
所在地	〒381-0006 長野県長野市大字富竹字堰下1621番地（法人登記） TEL (026) 296-7383（代） FAX (026) 296-7384
設立	1986年（昭和61年）8月28日
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
事業内容	社会福祉事業
主な事業	<p>【第一種社会福祉事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム事業 <p>【第二種社会福祉事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人短期入所事業 ・老人デイサービス事業 ・老人居宅介護等事業 ・障害福祉サービス事業（居宅介護、重度訪問介護） ・地域生活支援事業（移動支援事業） <p>【公益事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援事業 ・有料老人ホーム上松ホームを運営する事業 ・特定施設入居者生活介護事業 ・長野市地域包括支援センター事業 ・介護保険法に基づく第一号通所事業

特別養護老人ホーム富竹の里
TEL026-296-7383 FAX026-296-7384

特別養護老人ホーム富竹の里和み
TEL026-296-7705 FAX026-296-7384
介護付有料老人ホーム上松ホーム
TEL026-237-1660 FAX026-237-1661

長野市地域包括支援センター富竹の里
TEL026-295-7780 FAX026-296-8025

富竹の里ショートステイホーム
TEL026-296-7383 FAX026-296-7384

富竹の里デイサービスセンター
TEL026-296-2867 FAX026-296-7384

富竹の里ホームヘルプセンター
TEL026-296-7385 FAX026-296-8025

光仁会富竹の里介護支援センター
TEL026-296-8004 FAX026-296-7384



企業理念 Corporate Philosophy

私達は、

地域に開かれた信頼される施設づくりを目指します。

利用者の人権を尊重し、明るく健康的でやすらぎのあるサービスの提供を目指します。



光仁会の「K」は「光」を意味し、富竹の里の「T」は「人」を意味しています。光仁会の光（羅針盤）が、人（ご利用者、ご家族、地域住民、職員）の心に届く暖かい光（かがやき）を射しています。また、人の足元をてらし道筋を示しています。光仁会の名称は、「愛と輝きをもととして互いに慈しみあう会」という意味です。

倫理行動規範 Code of business conduct and ethics

サービスに関すること

- すべての方に対し、平等で公平な介護サービスに努めます。
- 思いやりをもって、私たち一人ひとりができることを精一杯行います。
- 常に自己研鑽に励み、根拠に基づいた安全で効率的な介護サービスに努めます。
- 専門職として高い倫理観を持って、職務に専念します。

ご利用者の保護等に関すること

- 人権・権利を尊重します。
- 知り得た事柄の守秘義務を厳守し、個人情報適切に取り扱い保護します。
- 原則として身体拘束を行いません。
- 相談苦情は、真摯に受止め、迅速・丁寧・公正に対応します。

チームワークに関すること

- 多様性を尊重し、相手の身になって、相手が不快・不安となる言動を慎みます。
- 簡潔で明確な言い方で相手に伝えます。
- 確認・連絡・報告を徹底します。
- 社会・社内のルールを守ります。
- 知識やアイデアを共有して、お互いの成長を目指します。

環境に関すること

- 省資源・省エネルギー活動を推進します。
- 5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）の基本行動により、業務の効率化・質の維持向上・安全管理・教育訓練等の推進に努めます。

1 サービスの質向上、法令遵守の取り組みを振り返る

品質方針書の作成と伝達を行いました

理念や倫理行動規範、業務の基準などが記され、サービスの質向上に取り組むための冊子「品質方針書」を制作し、雇用形態に関わらず全スタッフに配布しました。また、新規職員採用時等には本書をテキストとして使用し、職員間で統一できるよう取り組みました。



特養 富竹の里 家族会を行いました

今回のテーマは「安全でおいしい食事」についてで、常食、ペースト食、ソフト食、トロミをつけた水分をご家族に試食していただきました。職員が各テーブルで説明を行い、提供される食事の内容や安全対策について共有することができました。

接客研修を行いました

法人全体で、外部講師を招き、接客研修会を開催しました。私たち職員に求められる接客力の向上は必要不可欠となっています。また、虐待・身体拘束・不適切なケアの未然防止を図るうえでも、接客の視点は大変重要と考えています。職員一人ひとりが、これからの接客目標をたて、取り組みを開始しました。

社会福祉法人光仁会 富竹の里 接客研修会

地域住民に愛される高齢者施設職員の接客マナーの在り方とその進め方



顧客満足度アンケートを実施しました

顧客満足度アンケートを実施した結果、施設、在宅ともに80パーセントの方が満足との回答を得ました。結果については、事業所ごとに一つひとつのご質問に返答する形で取りまとめ、ホームページに公表いたしました。

特別養護老人ホーム富竹の里 満足度アンケート

お客様にご満足いただけるサービスを目指しております。率直なご意見をお聞かせいただくご協力をお願いします。

「選択回答欄」の欄も該当する数字に○印を、2又は1を選択された方は「記述回答欄」

調査項目	選択回答			記述回答
I 基本情報				
1 1ご回答者	1ご本人	2ご家族	3その他	()
II 有形性について	満 足	や や 満 足	や や 不 満	2 やや不満 1 不満の理由
1 建物の見栄え	4	3	2 1	()
2 建物の音調気	4	3	2 1	()
3 清潔な衛生環境	4	3	2 1	()
4 建物の設備	4	3	2 1	()
5 職員の身だしなみ	4	3	2 1	()
III 信頼性について	2 やや不満 1 不満の理由			
1 約束事の実行	4	3	2 1	()
2 知りになる	4	3	2 1	()
3 時間の正確さ	4	3	2 1	()
IV 応答性について	2 やや不満 1 不満の理由			
1 情報提供	4	3	2 1	()
2 迅速なサービス提供	4	3	2 1	()

指定更新報告（現地調査・実地指導）

法人が実施する6事業の指定有効期間が満了することから、更新手続きを行い、無事指定が更新されました。

- ・富竹の里
- ・富竹の里ショートステイホーム
- ・富竹の里和み
- ・富竹の里デイサービスセンター
- ・富竹の里ホームヘルプセンター
- ・光仁会富竹の里介護支援センター

つながり Connection



厚生労働省は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現しようとしています。

当法人においても「地域包括ケアシステム」の一員として、地域の支え合い体制づくりや地域住民の方に対する効果的かつ効率的な介護予防支援等を推進するための取り組みを実施しました。



認知症サポーター養成講座を開催しました

今年も東北中学校の生徒さんが来てくれました。写真は寸劇的一幕です。担任の先生が認知症のおじいちゃん役になり、声かけの方法を学びました。認知症の方は、外出時に「今の場所」や「行きたい場所」が分からなくなったりすることがあります。地域の方がやさしく声をかけてくださることによって、安心して住み慣れた地域で過ごす事ができると思います。勇気ある「声かけ」が「命を救う」ことにつながる。認知症についてお互いに学びあうことができました。



ミニコンサートを行いました

長野市豊野地区に住民の交流や被災者支援の拠点となる施設「まちの縁側ぬくぬく亭」にて、理事長ご夫婦によるピアノとフルートのミニコンサートを行いました。一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

施設スペースの無料開放

平成30年12月より開始した、地域住民を対象にした施設スペースの無料開放については、毎週約20名の方が介護予防運動に参加されました。この取り組みをとおして、生涯現役社会の実現に向けた高齢者等の活躍できる地域づくりにつなげることができればと考えています。



3

人材育成の取り組みを振り返る

キャリアアップ Career advancement



光仁会富竹の里では、新人職員・役職者・専門職員等を対象とした研修を年間研修計画に沿って実施しています。資格取得や資格更新のための研修や受験費用はすべて法人負担としました。環境の変化に敏感に対応すべく、固定概念にとらわれない意識改革、サービス向上にチャレンジする意欲と能力、高い倫理観と幅広い知識を持った職員の育成に取り組みました。

目標に向かって Step up エルダー制度実施

新しく入った職員が、さまざまな不安を取り除きながら職場に慣れ、また理論的で根拠のある適切なサービスを提供することができるよう先輩職員が指導する制度です。



喀痰吸引等研修の実施

「たんの吸引」と「経管栄養」を行える介護職員等を養成するための研修です。基本研修と実地研修に分かれていて、両方修了することで、医師の指示や看護師との連携のもと「たんの吸引」、「経管栄養」が実施できるようになります。令和元年度は、2名の職員が合格し、法人全体で12名の介護職員が認定を受けています。たんの吸引等の専門技術を身につけることで、これまでより幅広いご利用者に対応できるようになり、介護職員としてのスキルアップにもつながっています。



高齢者虐待研修の実施

不適切な環境にいると不適切なケアが横行し、適切な環境にいると適切なケアに満たされる。言葉の使い方を間違って支援していると、いずれ自分の感覚が麻痺し、不適切なケアや虐待につながる。まさに「割れ窓理論」、「孟母三遷の教え」、「蓬生麻中 不扶自直」のとおりです。虐待の芽や不適切ケアを自己チェックしました。

虐待の芽チェックリスト (入所施設版)		
虐待の芽や不適切ケアを自己チェックして、高齢者虐待を防止しましょう。		
	チェック項目	チェック欄 (○)
1	利用者に関連感覚で接したり、子供扱いしたりしていませんか？	している / していない
2	利用者に対して、アセスメント・施設サービス計画書に基づかず、あだ名や○○ちゃん呼び、呼び捨てなどをしていますか？	している / していない
3	利用者に対して、威圧的な態度、命令口調(「○○して」「タメ！」など)で接していませんか？	している / していない
4	利用者への声掛けなしに介助したり、居室に入ったり、勝手に私物に触ったりしていませんか？	している / していない
5	利用者のプライバシーに配慮せず、職員同士で話したり個人情報を知りすぎたりしていませんか？	している / していない

地域共生 Community involvement



光仁会富竹の里は、施設サービス・在宅サービスの事業所内運営に止まらず、地域と共に歩み続けています。施設サービスをご利用されるお一人おひとりが、地域の一員として、この地に暮らし続けることを大切にしています。

盆供養

地元、曹洞宗の大寺・信叟寺(しんそうじ)の第23代ご住職により、特養でお看取りされた方々ご利用者のご先祖様の供養を目的に、盆供養を執り行いました。



東富竹諏訪社 秋祭り

秋晴れの爽やかな風によって、鮮明な笛と太鼓が響き渡ります。その音によって軽妙に舞う獅子は、私たちに懐かしさとこれからの生きる喜びを感じさせてくれました。

富建千引神社神楽保存会 富建千引神社 秋祭り

1987年(昭和62年)の開所以来、ずっと続いています。富建千引神社神楽保存会の皆様による獅子舞で、無病息災、延命長寿、所内安全を願い、悪魔払いと四方固めを行っていただきました。



ふるさと青少年太鼓道場のみなさん

太鼓の音が心と体に響きます。毎年、「天下招福息災延命」という掛け声の入った「飛竜三段返し」で、元気をいただいています。



聖徳保育園さん

輪投げなど
レクリエーション交流



みずず雅楽会さん

悠久の時を経て、
心の奥に響く伝統芸能の
技と美「雅楽」

5

危機管理体制の取り組みを振り返る

安全第一 Safety first



火災・地震に加え、ゲリラ豪雨などが頻繁に起こるようになった日本では、いつでも、どこでも大水害が発生するという前提で備えをする必要があります。光仁会富竹の里においても、自然災害に伴う被害軽減策に対するさらなる取り組みを実施しました。

非常災害対策研修

水害・震災を想定した研修を行いました。職員へ洪水時の避難確保計画を周知し、富竹の里から協定を締結した近隣の高層福祉施設への避難経路と避難場所を確認しました。



避難経路確認の後、停電が発生したことを想定し、ポータブル発電機の操作訓練を実施しました。

2019年7月3日

職員 各位

水害・震災対応研修の実施について（依頼）

お疲れ様です。

さて、梅雨から秋にかけて台風や豪雨など風水害が多く発生するようになります。どんな災害にも、日頃の備えが最大の対策です。災害時の対応をもう一度確認し、備えを再行しましょう。つきましては、確認記録も下記のとおり実施します。作業スケジュールを主眼としていますが、途中からの参加も可能ですので、その他業務用も無理のない範囲でご参加ください。

題 名

- 日 時 2019年7月3日（水） 10時から11時30分（雨天決行）
- 集合場所 富竹の里玄関前
- 内 容
 - ・談話時の避難確保計画説明
 - ・水害時の避難場所確認
 - ・社会福祉法人光仁会事業部 長野障害者総合施設 11号棟
 - ・ポータブル発電機の操作訓練
- その他 避難場所へはGPSサービスの車両番号を携帯して参ります。

【避難経路】

緊急連絡網・安否確認システム「オクレンジャー」導入

自然災害や感染症等への対策を強化すべく、事業所からの緊急な連絡をより早く、より確実に伝えるため、安否確認や緊急連絡網として利用されている「オクレンジャー」を導入しました。職員はもとより、ご家族にもご登録いただきました。



発電機購入



ガス発電機のみでは、避難場所で使用することができません。新たにガソリン発電機を3台導入しました。

チームケア Team care



「従業員満足なくして顧客満足なし」

職員が自分の職場や仕事に誇りを持ち、働きやすく働きがいを得られ、お互いの信頼関係のもとで、持てる能力をフルに発揮できる職場環境の整備を進めています。今後も、ワーク・ライフ・バランス支援、ダイバーシティの推進をととして、職員の確保、働きがいや生きがいの向上、新しい発想や価値創造の実現を目指します。

一般事業主行動計画の策定

職員が仕事と子育てを両立させることができ、全職員が働きやすい環境を作ることによって、個々の職員の能力を十分に発揮できるよう行動計画を作成しました。

目標は、

- ①育児休業取得促進に向け、職員に対し育児休業制度の周知や情報提供を行う。
 - ②所定外労働削減のため、毎週水曜日をNO残業DAYとする。
- とし、取り組みました。



年次有給休暇の取得促進

年5日の有給休暇取得が義務付けられたことで、「休むこと」に大きな注目が集まりました。該当する全ての職員が取得することができ、目標は達成されました。

	事業所名	取得率	平均取得日数
1	特別養護老人ホーム富竹の里	100%	11.1日
2	富竹の里ショートステイホーム	100%	11.1日
3	特別養護老人ホーム富竹の里和み	100%	9.8日
4	介護付有料老人ホーム上松ホーム	100%	11.0日
5	富竹の里デイサービスセンター	100%	11.2日
6	富竹の里ホームヘルプセンター	100%	12.3日
7	光仁会富竹の里介護支援センター	100%	17.7日
8	長野市地域包括支援センター富竹の里	100%	11.2日
9	事務所	100%	15.1日

令和2年3月31日在籍職員

質の高い死 Quality of death



私たちは、ご利用者の人生の最期のフェーズに携わり、エンディングストーリーを適切につくり上げていく役割があります。ご利用者との会話をとおして、想いを尊重し、納得できるプロセスをガイドすることが責務だと思っています。
百人いれば百通りの生き方、逝き方がある。
人生の最期まで尊厳ある生活（その人らしい生活）を支援します。

看取り介護をさせていただいたご利用者数

事業所名	退所者数	看取り実施者数
特別養護老人ホーム富竹の里	12	6
特別養護老人ホーム富竹の里和み	5	1
介護付有料老人ホーム上松ホーム	10	4
合計	27	11

「死」に直面するご家族の葛藤と心のケア

医師より「終末期」と診断を受けて数日…。
ご利用者の反応が少し薄くなり、ご家族に電話をかけました。
するとご家族は、電話口で泣きながら動揺されました。
自分の大切な家族が、最期に近づいていることを実感されたのです。
誰でもいつかは経験する喪失感があります。
大切な人が最期に近づく、そして迎える死があります。
遺される・遺された人の悲嘆をケアすることも、大切な看取り介護の実践です。
私たちは、喪失とともに生きることについても学ぶことが大切だと思っています。

振り返り（Conference）

看取り支援をさせていただくことで、ご利用者から学ばせていただくことが沢山あります。
人生の最期。私たちは何をお手伝いできるのか…。
自分自身に置き換え、家族や自分の最後を考えるきっかけになります。
身をもって語りかけてくださる姿に、私たちは様々なことを学びます。

職員の皆様へ

「こんなふうに歳を重ねたいね…。」そう思わせてくれる父の娘に生まれてくることができて、私は本当に幸せでした。
父は常に地域の方とのつながりを大切にし、人のために尽くしていました。
それは老人ホームにお世話になってからも変わることなく、
父の生き様にはスタッフの方からも、「力をもらいます」とお言葉をいただくほどでした。
常日頃より、父を気に掛けてくださったことに深く感謝申し上げます。

家族



ご家族から温かい感謝のお言葉を頂戴しました。
ご家族の希望もあり、
このお手紙を職員全員に配布しました。

事業所毎の利用率等

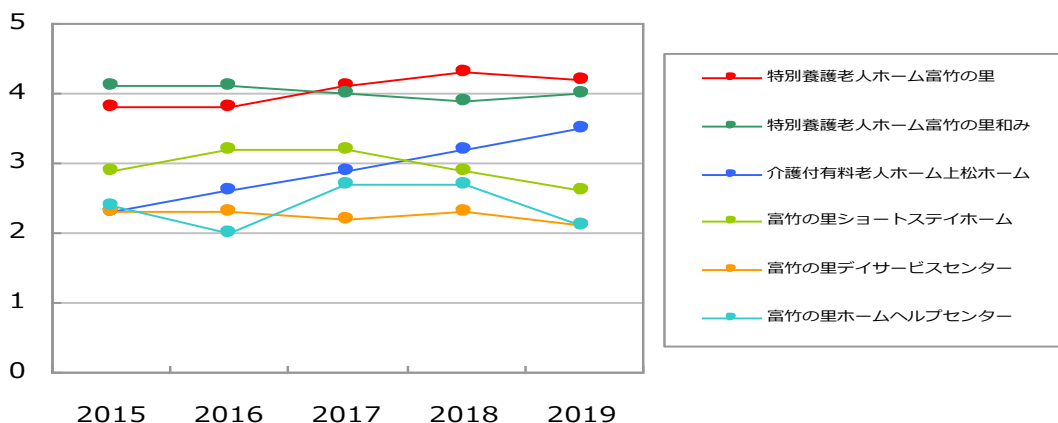
事業所名	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
特別養護老人ホーム富竹の里	96.4	97.7	94.2	96.4	98.0
特別養護老人ホーム富竹の里和み	98.1	97.9	98.9	97.6	96.0
介護付有料老人ホーム上松ホーム	95.3	95.3	94.6	95.9	94.3
富竹の里ショートステイホーム	81.0	81.7	76.1	81.4	83.2
富竹の里デイサービスセンター (介護保険、相当サービス)	91.2	83.4	77.0	76.5	73.9
富竹の里デイサービスセンター (通所型基準緩和サービス)	-	46.3	44.5	40.8	35.1
富竹の里ホームヘルプセンター (介護保険、相当サービス)	5738 : 25	3861 : 35	3897 : 49	3403 : 31	2582 : 45
富竹の里ホームヘルプセンター (障害福祉サービス)	1057 : 00	1248 : 00	1074 : 30	595 : 00	392 : 30

事業所毎の平均年齢

事業所名	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
特別養護老人ホーム富竹の里	90.0	89.3	88.8	88.6	88.5
特別養護老人ホーム富竹の里和み	87.5	87.8	88.8	89.4	88.7
介護付有料老人ホーム上松ホーム	87.4	87.3	88.1	89.4	90.5
富竹の里ショートステイホーム	89.9	87.3	87.9	89.0	89.5
富竹の里デイサービスセンター (介護保険、相当サービス)	86.6	86.5	87.5	87.9	87.9
富竹の里デイサービスセンター (通所型基準緩和サービス)	-	76.3	80.2	81.5	82.1
富竹の里ホームヘルプセンター (介護保険、相当サービス)	83.3	85.5	85.0	85.5	86.7
富竹の里ホームヘルプセンター (障害福祉サービス)	51.1	53.5	46.2	52.4	45.1

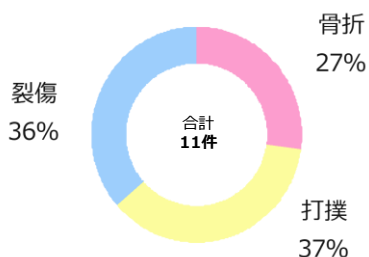
事業所毎の平均介護度

事業所名	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
特別養護老人ホーム富竹の里	3.8	3.8	4.1	4.3	4.2
特別養護老人ホーム富竹の里和み	4.1	4.1	4.0	3.9	4.0
介護付有料老人ホーム上松ホーム	2.3	2.6	2.9	3.2	3.5
富竹の里ショートステイホーム	2.9	3.2	3.2	2.9	2.6
富竹の里デイサービスセンター	2.3	2.3	2.2	2.3	2.1
富竹の里ホームヘルプセンター	2.4	2.0	2.7	2.7	2.1



事故報告件数

種類	件数
骨折	3
打撲	4
裂傷	4
合計	11

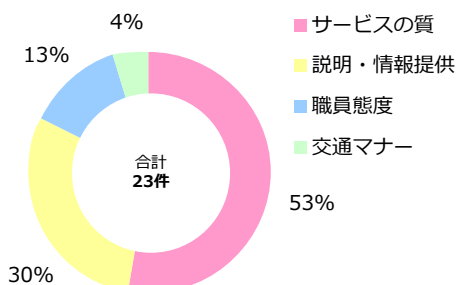


私たちは、長野市介護保険事故報告事務取扱要領に従い、介護保険サービス提供に当たり、以下の報告対象に該当する事故等が発生した場合は、長野市に報告を行っています。

1. 利用者が死亡または負傷※した場合
※負傷とは、医師の保険診療を要したものの。
2. 利用者が無届で外出し、警察・消防等に捜索協力を依頼した場合
3. その他事故により、利用者家族等から苦情が出ている場合

相談苦情件数

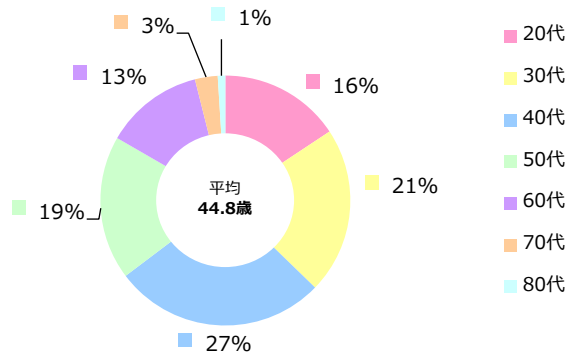
種類	件数
サービスの質	12
説明・情報提供	7
職員態度	3
交通マナー	1
合計	23



苦情解決第三者委員会を開催し、発生したすべての相談・苦情・介護事故について報告し、助言指導を頂きました。

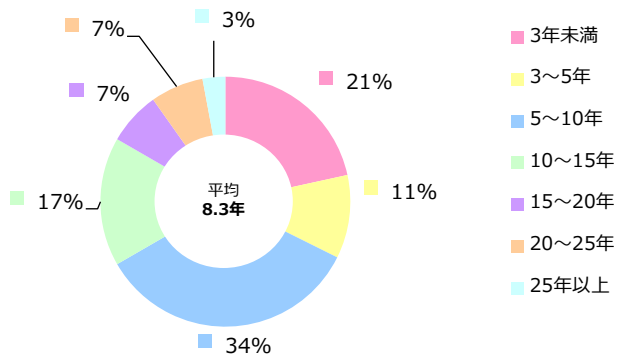
Staffの年齢割合

年代	人数
20代	16
30代	22
40代	28
50代	19
60代	13
70代	3
80代	1



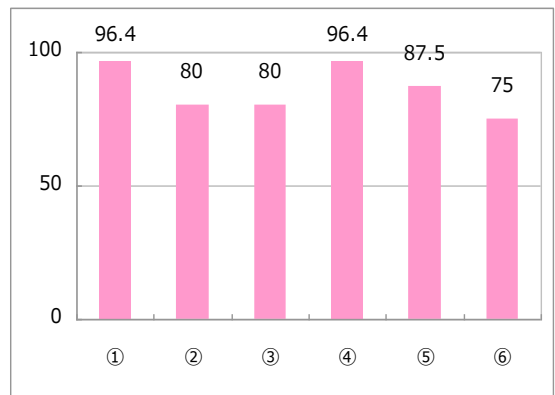
Staffの勤続年数

年代	人数
3年未満	22
3～5年	11
5～10年	35
10～15年	17
15～20年	7
20～25年	7
25年以上	3



事業所毎（介護職員）の介護福祉士保有者数

	事業所名	保有率
①	特別養護老人ホーム富竹の里	96.4
②	特別養護老人ホーム富竹の里和み	80.0
③	介護付有料老人ホーム上松ホーム	80.0
④	富竹の里ショートステイホーム	96.4
⑤	富竹の里デイサービスセンター	87.5
⑥	富竹の里ホームヘルプセンター	75.0

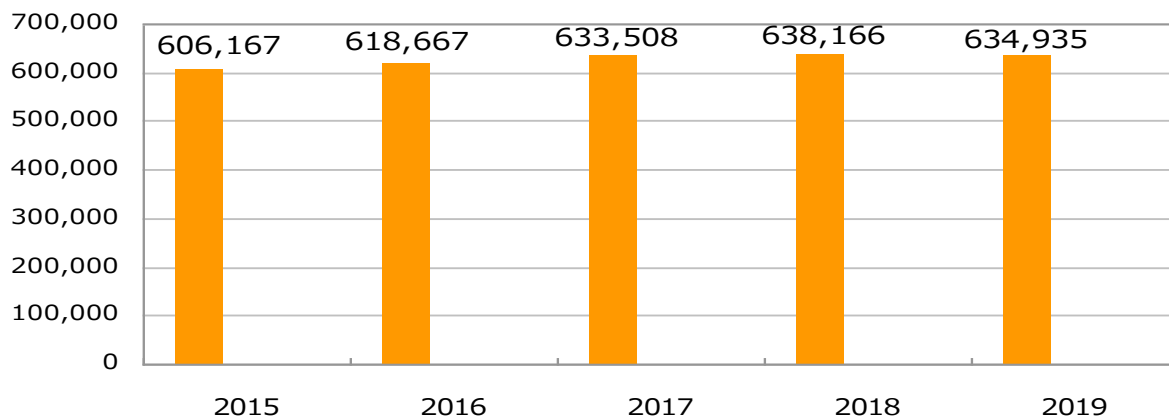


財務ハイライト Financial highlights

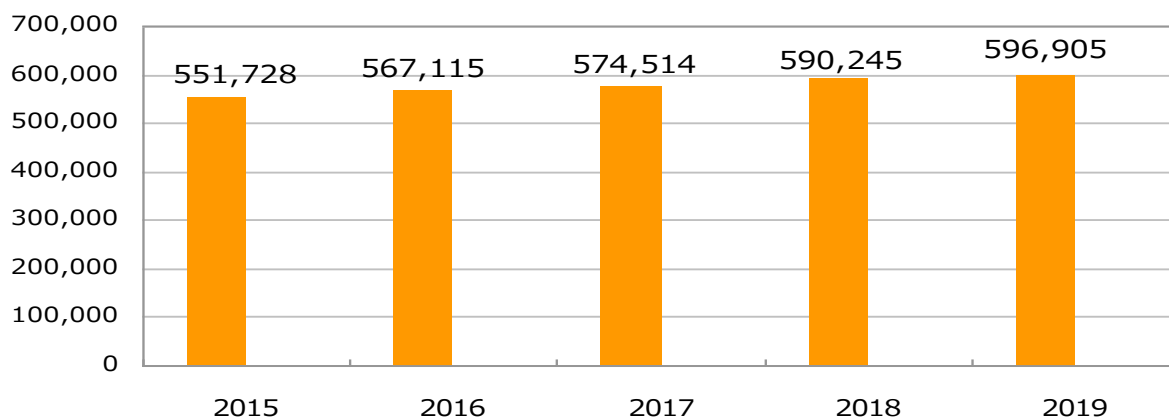
単位：千円

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
事業活動収入	606,167	618,667	633,508	638,166	634,935
事業活動支出	551,728	567,115	574,514	590,245	596,905
事業活動収支差額	54,439	51,552	58,994	47,921	38,030

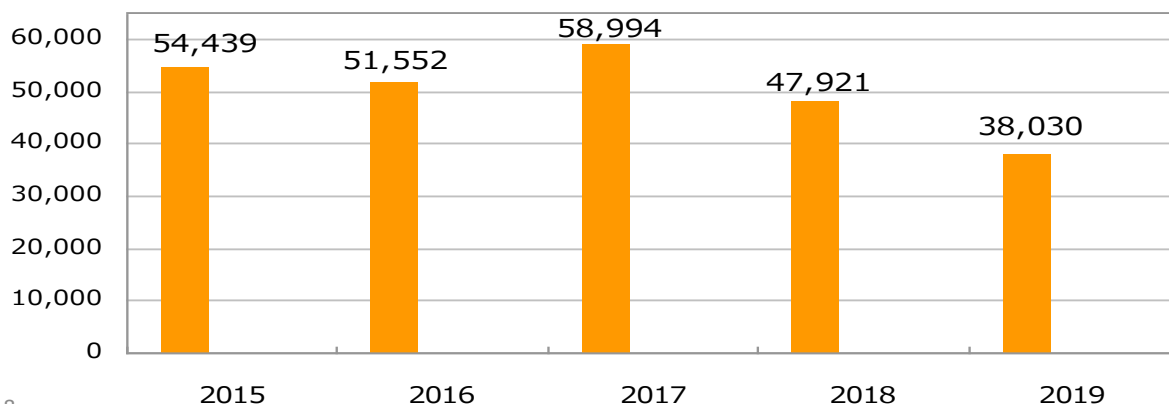
事業活動収入 Revenues



事業活動支出 Expenditures

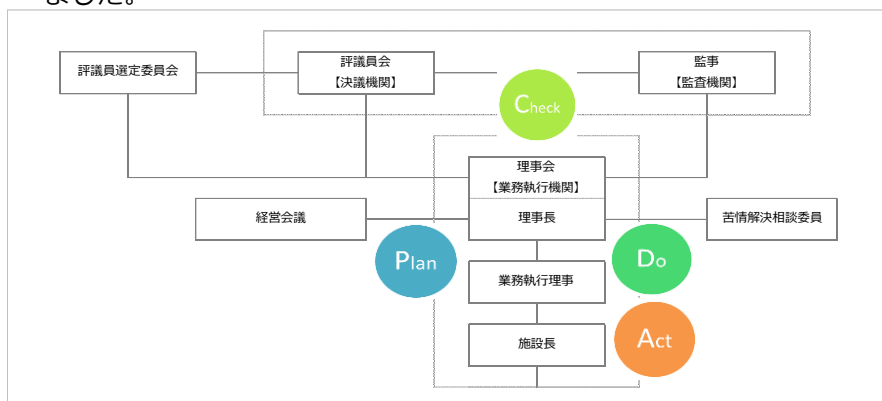


事業活動収支差額 Total balance for the term



企業統治 Corporate governance

2017年4月1日より「社会福祉法等の一部を改正する法律」が施行されました。光仁会富竹の里は、社会福祉法人としての社会的責任を自覚し、高い公益性と非営利性を担保するため、ガバナンス体制の構築と強化、透明性の向上、地域における公益的な取り組みを実施してきました。



理事会・評議員会・評議員選任解任委員会 執行状況

開催年月日	場所	出席者	審議事項
R1.5.21 第120回 理事会	法人会議室	理事5名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業報告 平成30年度決算の承認 評議員退任及び選任候補者推薦書 定時評議員会の日時及び場所並びに目的事項等 事業報告計算書類等の監査結果報告 理事長及び常務理事の職務執行状況
R1.6.17 定時評議員会	富竹の里 いきいき センター	評議員7名 理事2名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度決算の承認 役員の選任 平成30年度事業報告
R1.6.17 第121回 理事会	法人会議室	理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> 理事長の選定 常務理事の選定
R.1.9.13 第122回 理事会	決議の省略	理事6名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> 消費税増税等に伴う運営規程の一部変更 嘱託及び短時間勤務等職員の就業規則の一部変更 法律顧問契約の締結
R1.11.27 第123回 理事会	法人会議室	理事7名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度11月補正予算書 ショートステイ床の特別養護老人ホームへの転換 評議員退任及び選任候補者推薦書 苦情解決相談員の選任 就業規則の一部変更 運営規程の一部変更 理事長及び常務理事の職務執行状況
R1.11.27 第4回 評議員選任 解任委員会	法人会議室	外部委員1名 監事1名 事務局員1名	<ul style="list-style-type: none"> 評議員の選任について
R2.3.18 第124回 理事会	決議の省略	理事7名 監事2名	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度3月補正予算書 令和2年度事業計画書（案） 令和2年度当初予算書（案） 運営規程の一部変更 理事長及び常務理事の職務執行状況

寄付金報告

退所された特養のご利用者ご家族1名の方から、総額10万円のご寄付を頂戴しました。

特別養護老人ホーム富竹の里（定員48名⇒52名） 富竹の里ショートステイホーム（定員16名⇒12名）



第8次長野市高齢者福祉計画・第7期長野市介護保険事業計画に基づく特別養護老人ホームの整備枠配分に係る施設の増床整備により、令和元年12月1日より、定員の変更を行いました。医療行為を必要とされる方へ安全で安心したサービスが提供できるよう喀痰吸引等研修に1名の介護職員が参加し、認定証を取得しました。
台風第19号で被災されたご利用者2名を受け入れました。

ご利用者の利用状況（R2.3.31現在）

男	女	計	最高年齢	最低年齢	最長入所	平均入所
7人	46人	53人	102歳	59歳	28年	3年1か月

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	0人	7人	29人	17人	53人

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
0人	0人	2,040人	9,091人	6,557人	17,688人	48.3人

（富竹の里ショートステイホーム）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
8人	23人	692人	1,591人	798人	1,183人	170人	4,465人	12.2人

特別養護老人ホーム富竹の里和み（定員20名）



ご利用者に寄り添った支援の継続を行うため、申し送りや記録の場所を工夫するなどの取り組みを実践しました。

医療行為を必要とされる方へ安全で安心したサービスが提供できるよう喀痰吸引等研修に1名の介護職員が参加し、認定証を取得しました。

6回の運営推進会議を開催し、長野市職員、区長、家族会代表者、民生児童委員、地域包括支援センター職員に対し、提供しているサービス内容等の説明や地域との連携強化について話し合い、地域に開かれたサービス提供とその質の向上を図りました。

ご利用者の利用状況（R2.3.31現在）

男	女	計	最高年齢	最低年齢	最長入所	平均入所
3人	17人	20人	101歳	69歳	10年	3年7か月

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	0人	6人	8人	6人	20人

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
0人	0人	1,773人	3,639人	1,616人	7,028人	19.2人

介護付有料老人ホーム上松ホーム（定員24名）



6回の運営推進会議を開催し、長野市職員、区長、家族会代表者、民生児童委員、地域包括支援センター職員に対し、提供しているサービス内容等の説明や地域との連携強化について話し合い、地域に開かれたサービス提供とその質の向上を図りました。平均介護度も3.5となり、重度化が進んでいます。退所された方も多くいました。台風19号の被害はなく、安定した経営・運営となりました。

ご利用者の利用状況（R2.3.31現在）

男	女	計	最高年齢	最低年齢	最長入所	平均入所
3人	20人	23人	100歳	83歳	11年	4年

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
3人	2人	4人	9人	5人	23人

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
1,561人	761人	1,684人	2,561人	1,698人	8,265人	22.6人

富竹の里デイサービスセンター（定員35名）



ご利用者の身体機能の維持・向上、自立支援を目指し、理学療法士、機能訓練指導員を配置し、ご利用者一人ひとりの目標、身体状況、意欲に合わせた個別機能訓練を充実させて実施しました。様々なメニューの中から選択する個別レクリエーション活動やボランティアの皆さんにもご協力いただき季節の行事なども開催しました。ご利用者のADLが一定の評価期間のなかで維持できていると認められ、ADL維持等加算を算定しています。

また、中重度（要介護3以上）のご利用者の割合、職員体制の基準を満たし中重度ケア体制加算を算定しています。通所型基準緩和サービス「いきいきクラブ」は、火・金曜日（午前午後）、水曜日（午後）実施し、介護予防・自立支援・社会参加を目指した目標を設定し、機能訓練・脳トレ等の活動を中心に実施しました。

令和元年10月の台風災害の影響で、通所介護・介護予防通所介護相当サービスは2日間休業し、基準緩和サービスは3日間休業しました。通所介護・相当サービスでは被災されデイサービス休止された方が21名おり、ほとんどの方がご自宅へは戻られず利用終了となりました。10月以降の利用実績は低下しましたが、機能訓練や入浴を希望される新規のご相談が徐々に増え、令和2年3月実績では災害前とほぼ同じくらいの実績に戻りました。

ご利用者の利用状況

【介護保険・相当サービス】

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
22人	282人	1,048人	3,266人	2,168人	1,004人	959人	642人	9,391人	26.0人

【通所型基準緩和サービス】

事業対象者	要支援1	要支援2	合計	1単位平均
1,045人	326人	144人	1,515人	5.9人



通所型基準緩和サービスの様子

富竹の里ホームヘルプセンター



高齢者、障がい者のご利用者一人ひとりの在宅生活に寄り添い、安心して楽しく健康的に過ごせるよう、意向をしっかりと聞きながらサービス提供をさせていただきました。また、ご利用者やご家族の悩み、相談などにも耳を傾け、家庭や地域、サービス事業者と連携を図り、満足と信頼をいただけるよう努めました。

ご利用者の利用状況

【介護保険・相当サービス】

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
127回	321回	648回	680回	128回	871回	30回	36回	2,841回
127 : 00	148 : 30	256 : 69	106 : 23	110 : 35	496 : 40	23 : 45	36 : 00	1300 : 02

【障害福祉サービス】

316回
392 : 30

【移動支援事業】

64回
196 : 00

【自費サービス】

10回
14 : 00

光仁会富竹の里介護支援センター



令和元年度は、台風19号の災害発生により近隣地域に甚大な被害がありました。自宅が被災し、自宅以外の場所での生活を余儀なくされたご利用者様もいらっしゃり、状況に応じた相談、支援を行いました。契約終了は27件でしたが、独居の方や高齢のご夫婦2人暮らしの方が施設に入所されるケースが多くありました。施設形態も介護付き有料老人ホームや小規模多機能型居宅介護、グループホーム、ケアハウ

ス等、特養以外の施設を選択される方も以前よりも多くなっております。

新規の依頼では地域包括支援センターからの依頼が最も多く、申請中の段階から関わらせていただくこともあり、各関係機関との密な連携や、迅速な対応を行い、スムーズに在宅生活を送れるような調整支援が必要になっております。

介護給付から介護予防給付に移行になったご利用者様が例年より多くあり、今後も介護予防支援への対応もスムーズに行えるように、より一層地域包括支援センターと連携を図っていきます。ご利用者様がより自立した在宅生活を送れるよう適切な相談援助を行い、サービス事業者や医療、インフォーマルサービス等との連携を図りながら居宅介護サービス計画書の作成を行いました。

ケアプラン作成件数等

介護給付	1,161件
介護予防給付	95件
介護予防ケアマネジメント（総合事業）	32件
新規利用	
・介護	37件
・介護予防	6件
・介護予防マネジメント	3件
入院時連携加算	50回
退院・退所加算	24回
契約終了	36件

契約終了内訳

- ・死亡7名
- ・特養入所6名
- ・介護付有料老人ホーム入所3名
- ・住宅型有料老人ホーム入所1名
- ・グループホーム入所1名
- ・ケアハウス入所3名
- ・小規模多機能移行1名
- ・他事業所へ変更1名
- ・居宅サービス利用中止1名
- ・転居1名
- ・予防給付へ移行11名

長野市地域包括支援センター富竹の里



地域包括支援センターは、福祉・保健・医療などに関する高齢の皆さんの総合相談窓口としての役割があります。社会福祉士・保健師（看護師）・主任ケアマネジャーの専門職が配置されています。介護予防などのケアプランの作成については、昨年度より増加傾向となりました。

総合相談支援事業については、地域の方から多種多様な相談を幅広く受け付け、早期対応を心がけ必要な支援につなげました。

権利擁護事業については、適切な福祉サービスや金銭管理の支援を進めるため、成年後見制度の活用促進、高齢者虐待の未然予防など対応を行いました。

包括的・継続的ケアマネジメント事業については、ケアマネジャーへの日常的な相談や研修支援等、また医療と介護の連携などネットワーク作りを実施しました。

介護予防マネジメントについては、自立した生活を目指して支援を行いました。

台風19号の対応としては、避難所にて総合相談支援を行い、ご寄付いただいた衣類は、長沼地区の各サロンに配布させていただきました。

ケアプラン作成件数等

予防給付ケアプラン作成数	133件
総合事業ケアプラン作成数	128件
総合事業基本チェックリスト実施数	41件
介護予防給付件数	1,594件 うち委託396件
介護予防ケアマネジメント（総合事業）	1,495件 うち委託208件

相談件数


介護保険	399件
住宅福祉サービス	68件
施設・住まい	50件
医療	56件
高齢者虐待	68件
成年後見制度	22件
苦情	0件
消費者被害	0件
その他	100件
合計	763件

介護予防教室等開催実績

実施月	内容	講師	参加人数
5月～6月	介護予防教室 一生ものの体の使い方 9回シリーズ	リハビリデイサービスnagomi 施設長 岡宮 一貴 氏	延べ211名
8月	介護者の集い 認知症サポーター講座 介護者教室 自助具と栄養補助食品	松代オレンジキャラバン ダスキンヘルスレント 菅沼 亨 氏	27名
11月	介護予防教室 介護の知恵袋 入所施設の選び方	老人ホーム紹介センター ハローケア信州 有吉 葵 氏	台風19号にて中止
2月	介護者教室 ストレッチと脳トレで健康介護	健康運動指導士 寺島 千津子 氏	COVID-19の発生により中止

台風第 19号 大雨洪水災害

災害等の状況とその対応

	災害等の状況	災害対応
10/10 (木)		17 時 00 分 台風警戒会議実施
10/11 (金)		16 時 00 分 台風警戒会議実施
10/12 (土)	15 時 30 分 大雨特別警報 18 時 10 分 杭瀬下 Lv4 立ヶ花 Lv1 18 時 40 分 杭瀬下氾濫危険情報発表 20 時 00 分 立ヶ花 Lv1 (4.69m) 20 時 20 分 立ヶ花 Lv2 20 時 23 分 篠ノ井横田 越水 21 時 27 分 篠ノ井塩崎 越水 21 時 43 分 雨宮 越水 22 時 15 分 篠ノ井小森 越水 23 時 18 分 松代柴 越水 23 時 20 分 立ヶ花 Lv3 23 時 40 分 立ヶ花 Lv4氾濫警戒情報発表 23 時 50 分 立ヶ花氾濫危険情報発表	11 時頃～ 避難準備実施 20 時 00 分 避難決断・避難開始  5 時間
10/13 (日)	00 時 55 分 穂保 越水 01 時 45 分 北相之島・飯田 越水 02 時 58 分 山王島 越水 03 時 25 分 立ヶ花・栗林 越水 05 時 30 分 穂保 堤防決壊 05 時 55 分 グリーンピア千曲浸水 中部電力豊野変電所浸水 06 時 45 分 自衛隊へリ救助開始 07 時 10 分 穂保決壊堤防 補修開始 08 時 45 分 県警へリ救助開始	01 時 00 分 避難完了 01 時頃 物資搬入開始 03 時頃 物資搬入完了 06 時 23 分 停電 09 時 30 分 朝食 (非常食提供)
10/14 (月)		避難生活 2 日目 他事業所職員等応援(PT 運動実施)
10/15 (火)	中部電力豊野変電所移動式変電所仮復旧	避難生活 3 日目 午前：医師診察、災害派遣ボラ(OT)応援 12 時頃 高電圧事業所 (特養) 停電復旧
10/16 (水)		避難生活 4 日目 09 時 00 分 帰宅開始 12 時 00 分 帰宅完了 (3 時間) 12 時頃 低電圧事業所停電復旧

台風19号の記憶を辿る

なんとなく普段とは違う、けづっているような気分と空模様の記憶は、恐らく朝から降りしきる雨のせいだったように思う。

台風が接近した12日の午後3時頃、避難をするなら「いつわ苑」か、浸水想定外にある「北部スポーツ・レクリエーションパーク」か、「その他」か、迷った。

北部スポーツ・レクリエーションパークに出向いたが、運動場はファミリーで活気にあふれ、行政から避難場所開設に関する連絡はなく、とても避難できる状況ではなかった。荒れ狂う空に畏怖すら感じていたのは私だけなのか。近くの小中学校への避難も考えたが、場所や建物の構造からしてとてもリスクが高いと判断し、選択肢からは外した。やはり当初の計画どおり、様々なリスクを最小限に抑えられる避難場所は、最も近い3階建ての「いつわ苑しかない」と避難場所を決断した。

施設のある場所は、川から近い遠い、市街地山間地など様々で、施設の規模にも違いがある。故に、自治体の警戒レベルなどに合わせた避難では間に合わないことがある。自分の施設は、「こうなったらここに避難する」、「こうなりそうだからあそこへ避難する」など、柔軟な避難判断基準と複数の避難場所の選定が必要だと感じた。

富竹の里は平屋、千曲川の水位が上がれば必ず避難が必要となる。いつわ苑とは平成30年7月に、「災害時における避難場所提供等に関する災害協定書」を締結し、千曲川の氾濫を想定した避難訓練も実施してきた。訓練では、福祉車両4台、職員30名を動員し、避難終了までに約3時間かかっていた。

千曲川の水位は思いとは裏腹に上がっていく。午後8時、立ヶ花の水位に急激な上昇が確認された。電卓を叩き、水位の予測をした。氾濫危険水位まであと5時間。避難を決断した。

可能な職員には帰宅せず待機してもらっていたが職員が足りない。沿川に住む職員や、橋を渡ってこなくてはならない職員は除き、動員をかけた。避難計画に沿って、職員20名ほどで福祉車両3台を使用し、いつわ苑との間を約20往復した。ご利用者74名を約600m離れたいつわ苑へ無事避難し終えたのは、翌13日の深夜1時頃だった。約5時間を費やした。ほぼ同時に施設から約2キロ離れた穂保で越水が始まった。近くで越水が起こっていることなど知る由もなく、その後も何度も物品の搬送に奔走した。

夜が明けた。天気は良かったが、いつわ苑の3階から望む長沼地域はうっすらとけづっていた。堤防の決壊がその理由だったのだと、後に映像を見て愕然とし納得した。流れ出た水によって富竹の里は陸の孤島と化し、その水は、陽の光により乱反射を繰り返しながらいつわ苑に迫った。いつわ苑は停電しただけで、ギリギリ水は漬かず、委託業者から温かい食事届き、無事に避難生活5日間を乗り切ることができた。

自然は平等でもなんでもなく、容赦なんてないんだと震える。決壊した場所が、穂保でなかったら、避難していなかったら、違う結果になっていたかもしれない。ただ、今回事なきを得たのは決して偶然ではなかったと思いたい。過去の経験と、それに基づく避難計画と訓練がとても役に立ったのだと。

今ここで地震が起きたら、今後、台風19号と同等あるいはそれ以上の台風がきたら、いつ、どこへ、どう避難したらいいのか、私たちが日頃から考えていても訓練をしても、うまくいかないことがきっとある。最低、どこまでやっておくべきか。日々、自問自答だ。

「計画は作って終わりじゃない、始まりだ。常に確認と訓練が必要」と強く感じている。

そして何より、今回の台風19号を忘れず、心に置いていること。

毎年その日に、記憶を辿りたい。

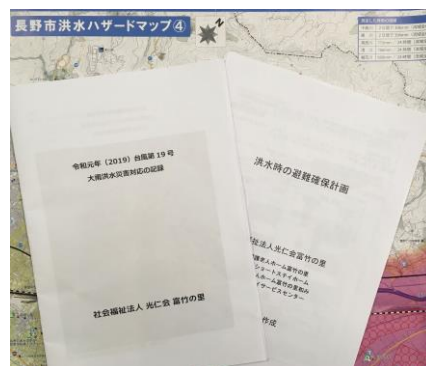
令和元年（2019）台風第19号

大雨洪水災害対応の記録

昨年10月の台風19号では、千曲川の決壊前にご利用者全員を無事避難させることができました。

防災教育の強化、災害経験の継承等により、即座に避難する文化の育成などを目的に、「令和元年（2019）台風第19号 大雨洪水災害対応の記録」を制作しました。

災害発生前後の約1週間の対応などを詳細にまとめました。



メ 毛

A large rectangular area with a solid top border and a solid bottom border. Inside, there are 18 horizontal dotted lines, creating 19 rows for writing.

A large rectangular box with a solid black border. Inside the box, there are 20 horizontal dotted lines, evenly spaced, creating a writing area. The lines are parallel to each other and extend across the width of the box.

社会福祉法人光仁会富竹の里
発行 2020年5月
責任者 施設長 嶋田 直人
〒381-0006 長野市大字富竹1621番地
TEL026-296-7383 FAX026-296-7384
<http://tomitake-carenet.com>